

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年3月7日（金）

2 確認箇所

サイトバンカ建屋（第三セシウム吸着装置：SARRYⅡ）（図1）

3 確認項目

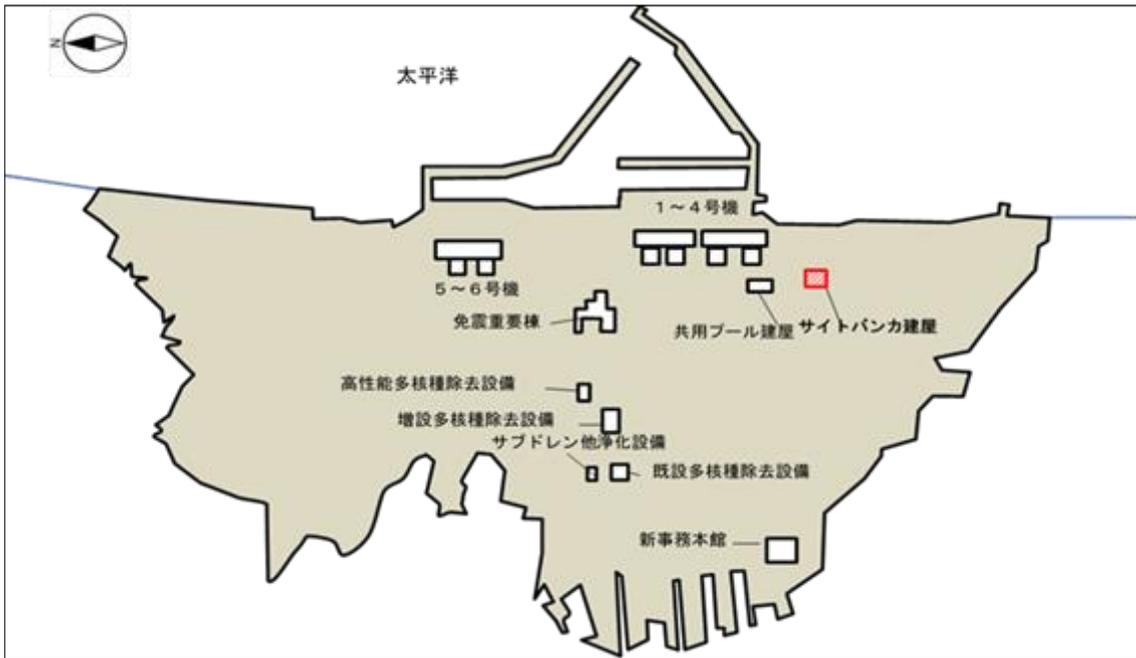
第三セシウム吸着装置（SARRYⅡ）の状況

4 確認結果の概要

福島第一原子力発電所では、燃料デブリを冷却するための注水や雨水・地下水の原子炉建屋内への流入により、高濃度の放射性物質を含む汚染水が発生しており、この汚染水は、複数の設備を用いて放射性物質を除去する浄化処理が行われている。それら汚染水処理設備において、「増設多核種除去設備配管洗浄作業における身体汚染(令和5年10月)」や「高温焼却炉建屋からの放射性物質を含む水の漏えい(令和6年2月)」など、汚染水が漏えいするトラブルが連続して発生している。そのため、県では、汚染水処理設備の運転状況や設備機器の状況を適宜、確認している。

本日は、汚染水処理設備のうち汚染水からセシウムやストロンチウムを除去することを主な目的とした装置である SARRYⅡ の状況を確認した。（前回確認日：令和6年7月5日）

- ・ SARRYⅡ はサイトバンカ建屋2階に設置されている。汚染水を処理するために、2基のろ過フィルターと4基の吸着塔が備えられており、確認時は設備が待機状態（本日午後に運転予定）だった。（写真1）
- ・ 現場確認時に、作業員2名が配管、バルブなどの状態を確認していた。（写真2）
- ・ サイトバンカ建屋上部に設置された天井クレーンのガーダー上で、SARRYⅡを保護するためのネット設置に向けた準備作業が実施されていた。（写真3）
- ・ 天井クレーンのガーダー上にいる作業員は、墜落制止用器具（フルハーネス型）を着用していた。
- ・ 作業にあたっては、監視者を配置するとともに、作業員同士が声を掛け合いながら、安全に配慮して進められていた。
- ・ 現場を確認した範囲では、配管の接手部、バルブなどからの漏えいは認められなかった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



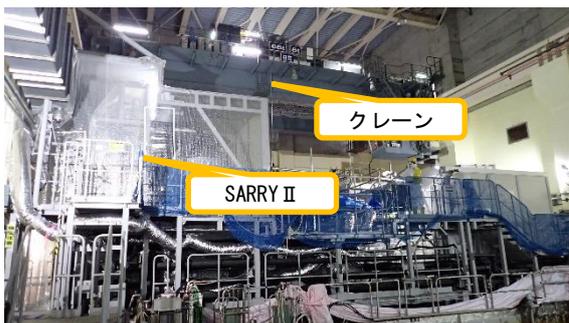
(写真1-1)
吸着塔の状況①
※吸着塔側面から撮影



(写真1-2)
吸着塔の状況②
※吸着塔上部から撮影



(写真 2)
設備の状態確認の状況



(写真 3—1)
保護ネット設置に向けた準備作業の
状況①



(写真 3—2)
保護ネット設置に向けた準備作業の
状況②

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。